

授業科目名	コーチング演習	単位数	2単位
担当教員名	秋澤一輝	担当形態	単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
「学位授与の方針」との関係			
DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる(専門知) DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる(実践力)			
授業のテーマ及び到達目標			
コーチングを行う上で基本となる計画、運営(マネジメント)、模範などについて深く学び、現在、抱えている問題を解決しながらさらにコーチングを追求できるようにすることを到達目標とする。			
授業の概要			
現代社会においてコーチ(指導者)に求められるものは多岐にわたる。目紛しく変化する社会の中でスポーツの占める役割は大きい。また、スポーツ指導者を取り囲む環境も大きく変化している。コーチング論ではスポーツにおける指導者の社会的役割を認識し、その上でコーチ(指導者)の役割と使命を把握する。			
授業計画			
第1回:スポーツとコーチ(指導者)の現状 第2回:現代社会におけるスポーツ 第3回:現代社会におけるコーチ(指導者) 第4回:我が国のスポーツプロモーション 第5回:理想とされるコーチ(指導者) 第6回:コーチ(指導者)の心構えと視点 第7回:スポーツ参加者の目的 競技力向上を中心にして 第8回:スポーツ参加者の目的 参加志向型を中心にして 第9回:スポーツ参加者の目的 自己達成との関係について 第10回:現代における体罰や暴力等ハラスメントについての検討 第11回:スポーツと心にかかわる諸問題 第12回:動機づけ(モチベーション)とコーチング 第13回:現代社会とスポーツにおける今後の課題 第14回:スポーツ現場における心理的な課題 第15回:コーチ(指導者)の心理的な取り組み 定期試験			
スクーリングでの学修			
現代社会とスポーツの関係を読み解いていくことによって、現代社会に求められるコーチ(指導者)を理解する。 (主に第1回~第5回、第10回~15回を中心に横断的な内容を含む。)			
テキスト			
特になし。適宜資料を配布します。			
参考書・参考資料等			
日本コーチング学会(2017)『コーチング学への招待』大修館書店 978-4469268195			
学生に対する評価			
スクーリング評価(25%)、レポート評価(25%)、科目修得試験(50%)			